



No.266
2024.1.7

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
代表
藤山 素子
電話 0466-25-1817



珍客 白いカワセミ (2023年11月9日 柏尾川) 撮影: 本田 英昭

<1月例会>

1月21日(日)

座間谷戸山公園・座間新田探鳥会

(軽い坂道&平坦)

※雨天中止

雨天中止となった10月例会の再計画。どんな鳥に出会えるかを楽しみに座間谷戸山公園から足を延ばして座間新田まで歩きましょう。

集合 8:20 小田急線藤沢駅改札口 8:25 発快速急行新宿行最前車両乗車、相模大野駅着 8:49、9:00 発各停本厚木行乗車、座間駅着 9:08 下車

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、帽子等

解散 JR 相模線入谷駅 2:30 頃を予定 座間谷戸山公園のみ参加の方は西入口長屋門 12:30 頃

担当・問い合わせ

藤山 0466-25-1817 飯島 045-803-9294

<2月例会>

2月18日(日)

葛西臨海公園探鳥会

(平坦)

※雨天中止

東京湾に向かって広がる公園の中で野鳥を探しましょう。冬鳥が待っています。

集合 7:55 JR 藤沢駅改札口 8:05 同駅発東海道線新前橋行き最後尾車両乗 8:57 東京駅着 同駅 9:11 発京葉線海浜幕張行き乗車 9:25 葛西臨海公園下車

持ち物 観察用具、弁当、防寒具等

解散 14時頃 現地にて

担当・問い合わせ

青山 0466-87-2489 嶋岡 0466-50-5816

謹賀新年 (運営委員からご挨拶)

昨年は世の中で良いニュースより悪いニュースのほうが多かったように感じます。

鳥たちの生息環境も良い方向に向かっているとは言えません。毎回の探鳥会で今を生きる鳥たちの姿を五感で感じ、心に刻んでまいりたいと思います。

さあ、今年もご一緒に鳥たちに会いに出かけましょう！

藤山素子

最近の川名探鳥会や定例探鳥会への参加者が暑い日であっても、歩く距離が長いコースでも以前に比べてかなり増えていまして、運営委員をやっているものとして、うれしいかぎりです。

小生、入会して25年以上になりますが、正直藤沢探鳥クラブのどこが良いのかよく分かりませんが野鳥を探し、友達と雑談しながら歩き、カメラを持った人は写真を撮り、その日が楽しかった！ また参加したいと思う人が多いのかと思います。

今後もこのような探鳥会に、少しアレンジを加えるスタイルで続けたいと思います。

青山喜行

いろいろな鳥が見れるといいですね。今年もよろしくお祈りします。

橋本孝

鳥を観ているときは、ただただのどかな時間だと思う。天候にも恵まれ、こののどかな時間を今年もたくさん持つことができますように。

本年もよろしくお祈りいたします。

飯島秀子

今年も皆さんで楽しく探鳥会を行ってゆきましょう。今年もよろしくお祈りします。

嶋岡章

探鳥会では皆で鳥を探し、四季報は皆で投稿した文章や写真を楽しんで読む、皆が参加し楽しいクラブにしていきたいと思います。

今年も皆様と一緒に楽しみたく、よろしくお祈りいたします。

田中正信

表紙写真説明 珍客 白いカワセミ 柏尾川 2023年11月9日撮影

色素が少ないだけのカワセミの白化種です。アルビノは毛細血管が透けて、目が赤色に見えます、この為この子はアルビノではないと思います。

大変珍しいので何回も撮影に行き、色々なシーンを撮影しました。少しずつ色が変化しているように思いました。

本田 英昭



白色個体について (運営委員会調べ) : 白色個体には「白化症」と「白変症」の2つがある。白化症は突然変異でメラニン色素が生成されなくなるので、眼だけは毛細血管が透けてみえて赤くなる。そのため虹彩が機能なくなり、多量の光が入り込み失明するので食べ物をとれなくなり、生存できない。これが「アルビノ」である。白変症は、体は白いが眼は色素があるので失明せずに生存できる。体のメラニンと眼のメラニンの生成過程が異なるので、このようなことが起こる。

川名通年探鳥会

11月5日(日) 8:05~11:00 晴れ時々曇り

佐藤 武

久しぶりに23名の参加と賑わい、46個の目と耳のお陰もあり、27種の鳥を見聞きできました。

漸く秋めいてきて、遅まきながら柿やハゼノキの葉が色付き、路傍では野菊や蓼が咲き、植木のピラカンサが赤い実を付けていました。

秋冬の水鳥はまだ少ない中ヒドリガモの姿を見かけました。天高い秋の空ならぬ雲の多い空には猛禽類のミサゴ、チョウゲンボウそれにハイタカ?が舞姿を見せていました。ジョウビタキも姿を現しました。

柏尾川の中流で白色のカワセミがいたと話題になっていましたが、普通のカワセミが柏尾川畔でじっと留まっていてじっくりとその美しい姿を堪能できました。

見聞きした鳥 スズメ、ハクセキレイ、トビ、アオサギ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ウグイス、コサギ、ヒメアマツバメ、イソヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、カワセミ、イソシギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、チョウゲンボウ、エナガ、ミサゴ、カワウ、カルガモ、ヒドリガモ、アオジ、キジバト、ムクドリ、メジロ、タカSP (27種)

外来種 ドバト、ガビチョウ (2種)

参加者 23名

12月3日(日) 8:00~10:35 晴れ

飯島 秀子

寒暖の差に振り回されてきたが、今朝は正に冬の日。でも風も無く絶好の日和。

カモ類に期待してきたがわずか数羽でした。オオバンの声だけが賑やかでした。カワセミが川面をじっと見つめ今にも飛び込みそうな様子、しばらくして飛び込んだ。収穫はなし。糧を得ることは大変だと、簡単に食するわが身を省みてそう思ってしまった。イソヒヨドリ、アオサギなどいつもの顔ぶれにも会え、よって今日の探鳥は良しとしました。

見聞きした鳥 カワセミ、スズメ、エナガ、アオサギ、ヒヨドリ、アオジ、トビ、カワウ、ハシブトガラス、ジョウビタキ、ハシボソガラス、ハクセキレイ、カルガモ、オオバン、ムクドリ、メジロ、ウグイス、イソヒヨドリ、キジバト、ヒドリガモ、モズ、カワラヒワ (22種) 外来種 ガビチョウ、ドバト (2種)

参加者 17名

相模川中流探鳥会

11月19日(日) 9:20~13:20 快晴

青山 喜行

真っ青な空で風は弱く、爽やかな探鳥日よりの中、酒井スポーツセンターから相模川沿いに小田急鉄橋まで北上した。



ダイサギの大群 撮影; 稲田久

ツグミやジョウビタキなどの冬鳥が見られるようになりましたが、なんと言っても目立ったのはダイサギの大群で、水道のパイプの

上や河原、上空で舞っているのを合計すると、数百羽はいると思われ、餌の量を思うと、相模川の豊かさを感じた。

相模大堰では、併設されている橋を通過して堰の中程まで行き、やって来た水鳥を間近で観察し、上空にはチョウゲンボウやミサゴが出るなど野鳥観察を楽しみました。



ミサゴ 撮影；太田千佳子

見聞きした鳥 ハクセキレイ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバト、モズ、トビ、チョウゲンボウ、ダイサギ、アオサギ、ツグミ、ハシボソガラス、カワウ、ハシブトガラス、ジョウビタキ、カンムリカイツブリ、マガモ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、オオバン、コガモ、コサギ、セグロセキレイ、ミサゴ、カワラヒワ、シジュウカラ、ウグイス、スズメ、ノスリ、オナガ、カイツブリ、ヨシガモ、カワセミ、スズガモ、アオジ、カルガモ、チュウサギ、イソヒヨドリ (37種)

外来種 ドバト (1種)

参加者 15名

目久尻川探鳥会

12月17日(日) 9:10~15:00 快晴

田中 正信

快晴の空に富士山や丹沢が映える中、宮山駅傍の茶ヶ谷橋から目久尻川沿いを上流へ。

太陽光が直射したキセキレイの鮮やかさに感嘆、エノキの大木には何種もの小鳥が出入

りする。カルガモの群は川面を泳ぐと共に何度も頭上を飛翔し、初め見なかったサギ類は上流で多く出現した。高木の頂端や高枝にとまるツグミ、モズやチョウゲンボウを望み、灌木茂みでアオジやホオジロを見聞



ダイサギとコサギ 撮影；稲田久

きした。道安橋で目久尻川から離れ、蟹ヶ谷公園までの全6kmの間に、多くの野鳥に出会えた心地よい探鳥会だった。

見聞きした鳥 ムクドリ、タヒバリ、オオバン、カワセミ、カルガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キセキレイ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、コガモ、ジョウビタキ、メジロ、カイツブリ、スズメ、ダイサギ、モズ、ホオジロ、シジュウカラ、ツグミ、アオジ、コゲラ、チョウゲンボウ、ノスリ、トビ、コサギ、アオサギ、カワウ、バン、イソシギ、カワラヒワ、キジバト、マガモ、オカヨシガモ、ウグイス、エナガ (37種) 外来種 ドバト (1種)

参加者 17名

江の島探鳥会

11月10日(金) 8:35~11:00 曇りのち雨
谷 誠一

今日は10時頃から雨が予想される中、多数の参加者。岩本楼裏にヒドリガモ11羽が岩の藻を食べ歩き回る。遙か遠くのユリカモメ50羽位の中にウミネコが混じった大きな群れを2か所見かけた。今日は曇りのせいか鳥の鳴き声が聞こえるが、姿が見られない。冬桜が三分ほど咲いています。天気予報通り雨が降

り出し鳥も出ないので、中津宮広場で観察会を中断、江の島ヨットハウスで鳥合わせ後、解散しました。

見聞きした鳥 イソヒヨドリ、ヒドリガモ、トビ、コサギ、アオサギ、ヒヨドリ、ユリカモメ、ウミネコ、メジロ、エナガ、シジュウカラ、ハクセキレイ、スズメ、ジョウビタキ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ウグイス、アオジ、カワウ、オオバン (20種)

外来種 ドバト (1種)

参加者 10名

12月8日(金) 8:35~11:50 快晴
谷 誠一

江の島神社は鳥居の両脇に正月飾り用提灯櫓を準備中。潮が引いて岩の苔をヒドリガモが盛んに食べている、その上をトビが20cm位の魚を足で掴み東へ向かう、それをカラス6・7羽が追いかけていく。ヒヨドリの大き



ヒヨドリの大群 撮影; 田中正信

な群れが何回も島を旋回し西の小田原方面へ姿を消した、亀ヶ岡広場の桜の木が、蕾を付けたまま根元が腐り倒木、細い枝は処理されていて驚きました。

防波堤の大きな岩では、ミヤコドリ1羽が岩場や水溜りの中を嘴で突き速足で歩き回っている。風もなく暖かい穏やかな一日でした。



ミヤコドリ 撮影; 秋山孝

見聞きした鳥 スズメ、ヒドリガモ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、アオサギ、ウグイス、シジュウカラ、カワウ、ミヤコドリ、トビ、ユリカモメ、ツグミ、ハヤブサ、アオジ、ハシボソガラス、キジバト、エナガ、シロハラ、オオセグロカモメ、オオバン (24種)

参加者 17名

前号 (265号) 10月13日

江の島探鳥会の記載事項訂正

エゾビタキの写真撮影者を深田大としておりましたが、稲田久の誤りでした。お詫びして訂正いたします。(田中正信)

遠藤笹窪谷観察会

11月25日(土) 9:10~12:00 曇り(寒空)
谷 誠一

集合時、曇りで風が冷たく手袋をする。笹窪谷公園入口、右手の林の中ではメジロの大合唱。芝生広場ではハクセキレイ、キセキレイ、遊水池の柳にはホオジロが3羽、FS会員の皆さんが公園の水田で出来た稲を脱穀機で収穫作業中。横断道にはツグミ、シメなど冬鳥が数は少ないですが来ています。農地では、ハクセキレイに混じってタヒバリ6、7

羽が餌を啄んでいる。本日の収穫、何年も通っていますがアカゲラを見かけ最高の収穫でした。



アカゲラ 撮影；田中正信

見聞きした鳥 ハシボソガラス、ヒヨドリ、メジロ、ハクセキレイ、キセキレイ、ホオジロ、リュウキュウサンショウクイ、ウグイス、ツグミ、シメ、ヤマガラ、カワラヒワ、キジバト、タヒバリ、セグロセキレイ、ジョウビタキ、アカゲラ、チョウゲンボウ、ハシブトガラス、モズ、コゲラ、シジュウカラ、トビ (23種)

参加者 8名

新林公園の山道を歩く会

11月14日(火) 9:10~13:15 晴れ

深田 ゆみ

新林公園の山道を歩く会に初参加しました。先日からの冷え込みで富士山には冠雪が見られ、快晴の中で久しぶりに美しい姿を眺められ、気持ちの良いスタートとなりました。自分で歩くことでは知ることもない草木の様子を教えていただきながらの散策は、とても楽しい観察会でした。

メジロやヤマガラ・コゲラなどの混群やジョウビタキの雌が鳴きながらその姿を見せて



ジョウビタキ♀ 水彩画；加藤健二

くれたり、昨年もオシドリが見られた川名大池にはオス2羽・メス1羽を遠くでしたが確認できました。新参者の私ですがたくさんの植物の名前を教えていただきながらその可憐さに幾度となく癒され、特にキジカクシやサネカズラの赤い実はクリスマスツリーのオーナメントのように美しく、ハダカホオズキの

実も宝石のように輝いていました。楽しみにしていたマンジュウドロホコリは落ちた塊も見当たらず残念で



ハダカホオズキ 撮影；太田千佳子

したが、コウヤボウキの白に薄紅色が混じり小花が集まった花卉の先がぐるりと巻いている可憐な花は冬には白い綿毛をつけるというので、次回その綿毛を見るのが楽しみです。

散策の初めに、果柄が曲がりくねりながら伸び果実と同じように太る変わった形のケンポナシは梨の味がするといわれ、図鑑に食べてみようとしてあったので、落下し枝に引っかかっていたものを潰して舌先に乗せると、想像以上に甘かったので報告します。

見聞きした鳥 ジョウビタキ、シジュウカラ、コゲラ、ハクセキレイ、トビ、オシドリ、ウグイス、ヤマガラ、コガモ、カルガ

モ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、タカ SP、キジバト、アオジ (17種)

外来種 ガビチョウ トバト (2種)

参加者 8名

12月12日(火) 雨のため中止

前号(265号)10月10日 新林公園の 山道を歩く会の記載事項訂正

見聞きした鳥に誤りがありました。お詫びして次の通り訂正致します。(田中正信)

見聞きした鳥 シジュウカラ、メジロ、エナガ、コゲラ、ノスリ、タカ SP、ハシブトガラス、ハシボソガラス、スズメ、キジバト、センダイムシクイ、ヒヨドリ、オナガ、ムクドリ、ハクセキレイ、モズ、ヤマガラ、アオゲラ、トビ、ウグイス、カワラヒワ(21種)
外来種 コジュケイ、ガビチョウ (2種)

会員の声

アオサギ on the roof

(文と写真) 酒井 進

昨年10月23日、洗濯物を干しにベランダに出たところ、何かの気配に振り向くと何と道向かいの家の屋根にアオサギが降り立ち、



当家を覗き込んでおりました。こちらに気付くと暫ししらっばくれていましたが、やがて片瀬山方面に飛び去って行きました。熊、鹿、猪などに続き、アオサギまでが人間の生活空間に侵入してきたか・・・との思いです。

運営委員会報告

下記の議題について討議されました。

11月5日 四季報265、266、行事予定、藤沢市自然環境実態調査ツカ連絡状況、他

12月3日 四季報266、267、行事予定、藤沢市自然環境実態調査ツカ連絡状況、四季報サイズ、見聞きした鳥確認方法、他

行事等案内

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日 ※雨天中止

2月4日(担当:橋本)

3月3日(担当:藤山)

集合 8:00 JR藤沢駅南口名店ビル前
地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

1月12日(金) 2月9日(金)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園
藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

1月27日(土) 9:00~12:00

集合時間 9:00 ※雨天中止

集合場所 慶應大学バス停

連絡先 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

1月9日(火) 2月13日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

◎ 記載の行事はどなたでも申し込み不要でご参加いただけます。

初めての方、非会員の方のご参加をお待ちしています。

◇日帰りハクチョウ類探鳥会◇

群馬県館林の北西部にある「多々良沼」には毎年ハクチョウ類が飛来します。ハクチョウ類ほか、こちらでは見られにくい鳥たちに会いに行きましょう。(平坦)

日時：2024年1月28日(日)

※雨天・荒天時は中止(前日17:00には決定)

集合：JR藤沢駅改札7:00集合、7:09上野東京ライン宇都宮行最前車両乗車(直通)→久喜8:53下車→9:02発東武伊勢崎線区間準急館林行乗車→館林着9:31・10:01西小泉行→10:03着東武小泉線成島駅下車 徒歩約20分で多々良沼着 ※JR区間は「休日おでかけパス」¥2,720-を利用(交通費は往復JR2,720円+東武910円)

解散：多々良駅15:09乗車→館林・久喜乗換にて藤沢駅17:43着を予定

持ち物：観察用具、弁当、飲み物、防寒を十分に！(トイレ有)

担当・問合せ先：藤山 ※参加者は要連絡

TEL&FAX 0466-25-1817

E-mail motoko-f@jcom.home.ne.jp

入会のご案内

藤沢探鳥クラブでは皆様のご入会をお待ちしています。お問い合わせ、お申し込みは下の連絡先まで。

年会費について

年会費(4月～3月)は2,400円です。

会費振込先；郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

探鳥会時に現金払いでも受け付けています。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

motoko-f@jcom.home.ne.jp

HPアドレス；<https://fujsbwc.jimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

今号では水彩画の投稿を1点掲載しました。ご意見をお寄せ下さい。

投稿先は下記です。皆様の投稿をお待ちしています。(田中)

田中 正信(原稿・添付写真)

〒252-081 藤沢市鵜沼藤が谷4-13-26

e-mail；tanamasa@theia.ocn.ne.jp

電話/FAX 0466-27-2384

青山 喜行(表紙写真・説明文)

〒252-0816 藤沢市遠藤930-5

e-mail；aoyama-y@jcom.home.ne.jp